

国際バカロレアアジア太平洋地区年次研究大会 秋篠宮殿下 お言葉
(和文仮訳)

平成 29 年 3 月 29 日

このたび、世界 33 の国と地域から多くの参加者を迎えて、「国際バカロレアアジア太平洋地区年次研究大会」が我が国ではじめて、ここ横浜において開催されることを、誠によるこぼしく思います。

国際バカロレア機構は、国際的な視野をもつ人材の育成を目指し、世界標準の国際教育プログラムの発展に取り組んでこられたと伺っております。国際バカロレアの、多様な文化の理解と尊厳の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人材を育成していくという「全人教育」の理念は、近い将来、国際社会の中で協働し、地球規模の課題を解決していく次世代の人々にとって大変重要なものと考えます。

この理念を体現するために、教育関係者の皆さまがたゆまぬ努力を行ってこられたことに対し、深く敬意を表します。皆さまのこうした努力が実を結び、国際バカロレア認定校は年々その数を増していき、現在では、約 150 の国と地域において 4800 校以上に至っていると聞き及んでおります。

それぞれの国や地域において、児童生徒や学校が置かれている状況は大きく異なりますが、その中にも共通する課題があることと思います。皆さまが、これから 3 日間にわたる大会を通じて、情報交換を行いながらお互いの経験を共有し、話し合うことで、諸課題への新しい対応策が発見されることを期待しております。

おわりに、国際バカロレアが今後さらに発展することで、世界の教育がますます充実するとともに、世界の平和と人々の幸福に向けて貢献する多くの若者が育つことを願い、私の挨拶といたします。